

# 1

## 基本問題 計算・割合・資料の活用

基礎

(1)  $72 \div 9 + 28 \times 4$  を計算せよ。

.....

.....

.....

基礎

(2)  $(-5)^2 - (-3^2)$  を計算せよ。

.....

.....

.....

基礎

(3)  $0.04 \times 0.07$  を計算せよ。

.....

.....

.....

基礎

(4)  $\frac{1}{3} - \frac{3}{5}$  を計算せよ。

.....

.....

.....

◀ +, -, ×, ÷ の  
混じった式では, ×,  
÷ を先に計算する。

$(-5)^2 = (-5) \times (-5)$   
 $-3^2 = -(3 \times 3)$   
この計算の違いに  
注意しよう。



小数点の位置に注意しよう。



3 と 5 の最小公倍数 15 を  
分母にして, 通分しよう。



基礎 (5)  $\frac{7}{12} \div \frac{5}{6} \times \frac{10}{3}$  を計算せよ。

.....

.....

.....

基礎 (6)  $\frac{3}{4} + \frac{2}{3} \times \left(-\frac{6}{7}\right)$  を計算せよ。

.....

.....

.....

基礎 (7)  $\sqrt{48} + 3\sqrt{3}$  を計算せよ。

.....

.....

.....

基礎 (8)  $9x^2 - 30x + 25$  を因数分解せよ。

.....

.....

.....

$\div \frac{5}{6}$  は  $\times \frac{6}{5}$  に変形して計算しよう。



◀ +, -, ×, ÷ の混じった式では, ×, ÷ を先に計算する。

◀ a, b が正の数するとき  
 $\sqrt{a^2b} = a\sqrt{b}$   
c が正の数とき  
 $a\sqrt{c} + b\sqrt{c} = (a+b)\sqrt{c}$

◀  $a^2 + 2ab + b^2 = (a+b)^2$   
 $a^2 - 2ab + b^2 = (a-b)^2$

基礎

(9) 1次方程式  $6x-5=3x+4$  を解け。

.....

.....

.....

移項し、 $ax=b$ の形にして解こう。



基礎

(10) 2次方程式  $x^2-11x+24=0$  を解け。

.....

.....

.....

◀ 2次方程式

$$(x-\alpha)(x-\beta)=0$$

の解は  $x=\alpha, \beta$

基礎

(11) 2次方程式  $x^2-5x+3=0$  を解け。

.....

.....

.....

◀ 2次方程式の解の公式

$$ax^2+bx+c=0 \text{ の解は}$$

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

**基礎** (12) 400g の食塩水に 36g の食塩が入っているときの濃度 (単位:%) を求めよ。

.....

.....

.....

$$\begin{aligned} &\leftarrow \text{(食塩水の濃度(\%))} \\ &= \frac{\text{(食塩の重さ)}}{\text{(食塩水の重さ)}} \times 100 \end{aligned}$$

**基礎** (13) 分速 120m は時速何kmか。

.....

.....

.....

$$\leftarrow (\text{分速}) \times 60 = (\text{時速})$$

**応用** (14) 右の表は、ある学級の生徒 10 人を選んで、通学時間を調べて、度数分布表にまとめたものである。この表から、これらの生徒 10 人の通学時間の平均値を求めよ。

生徒の通学時間

階級(分)	度数(人)
以上 未満 0~10	4
10~20	2
20~30	4
計	10

階級値(度数分布表の階級のまん中の値)を求めて、平均値を計算しよう。



.....

.....

.....

$$\begin{aligned} &\leftarrow \text{(平均値)} \\ &= \frac{\text{(階級値)} \times \text{(度数の合計)}}{\text{(度数の合計)}} \end{aligned}$$



## 比例・反比例の式とグラフを理解しよう!

### 比例

- 大事な部分をなぞろう!
- 次の空欄をうめよう!

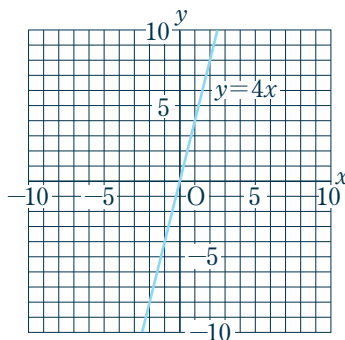
$y$  が  $x$  の関数で、 $y=ax$  ( $a$  は定数) と表されるとき、

「 $y$  は  $x$  に  する」という。このとき、 $a$  を比例定数という。

$y=4x$  の変化を調べてグラフをかこう。

$x$	-3	-2	-1	0	1	2	3
$y$	-12	<input type="text"/>	-4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	8	12

表をつくって、ほうがんに  
点をうち、点と点を結  
ぶと、グラフになるよ。



### 反比例

- 大事な部分をなぞろう!
- 次の空欄をうめよう!

$y$  が  $x$  の関数で、 $y=\frac{a}{x}$  ( $a$  は定数) と表されるとき、

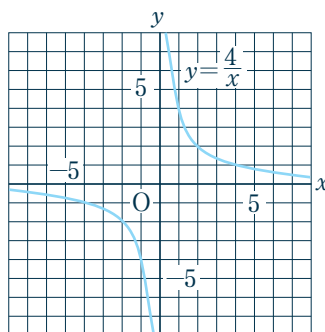
「 $y$  は  $x$  に  する」という。このとき、 $a$  を比例定数という。

$y=\frac{4}{x}$  の変化を調べてグラフをかこう。

$x$	-5	-4	-3	-2	-1
$y$	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-2	<input type="text"/>

0	1	2	3	4	5
<input type="text"/>	4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	1	<input type="text"/>

$y=\frac{x}{a}$  ではないよ。



チェックの答え ア:比例 イ:-8 ウ:0 エ:4 オ:反比例 カ:-1 キ:-4 ク:2

基礎

(1)  $y$  は  $x$  の関数で、 $x$  と  $y$  の関係を式で表すと、 $y=-5x$  である。 $x=2$  のときの  $y$  の値を求めよ。



# 1次関数の式とグラフを理解しよう！

## 1次関数の式とグラフ

- 大事な部分をなぞろう！
- 次の空欄をうめよう！

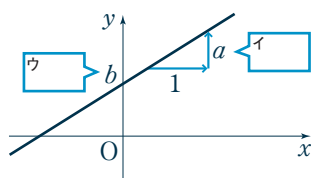
$y$  が  $x$  の関数で、

$$y = ax + b \quad (a, b \text{ は定数}, a \neq 0)$$

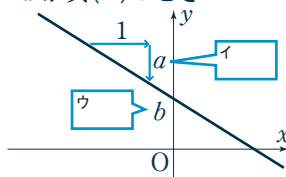
と表されるものを **ア** という。

定数  $a$  をグラフの **イ**，定数  $b$  をグラフの **ウ** という。

$a$  が正(+)のとき



$a$  が負(-)のとき



$y$  が  $x$  の1次式で表されているよ。



$b=0$  のとき，比例の式  $y=ax$  になる。

グラフの切片は，グラフと  $y$  軸との交点の  $y$  座標のことだよ。



傾き： $x$  の前にある数  
切片： $x$  のうしろにある数と覚えよう。

## 1次関数の変化の割合

- 次の空欄をうめよう！

1次関数  $y=2x+3$  において， $x$  の値が  $-1$  から  $5$  まで増加するとき、

$$x \text{ の増加量} = 5 - (-1) = 6$$

$$y \text{ の増加量} = 2 \times \text{エ} + 3 - \{2 \times (\text{オ}) + 3\}$$

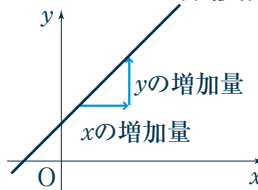
$$= \text{カ} - \text{キ} = \text{ク}$$

$$\text{となり，} \frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}} = \text{ケ}$$

変化の割合を求めるとき，分子と分母を逆にならないように。



1次関数では，傾きと変化の割合は同じだよ。



この  $x$  の増加量に対する  $y$  の増加量の割合を，変化の割合といい，1次関数では，つねに一定の値をとる。1次関数  $y=ax+b$  の変化の割合は **コ** で，グラフの直線の傾きに等しい。

チェックの答え ア：1次関数 イ：傾き ウ：切片 エ：5 オ：-1 カ：13 キ：1 ク：12 ケ：2 コ：a



基礎 (2) 1次関数  $y = \frac{1}{3}x + 10$  のグラフの傾きを求めよ。

.....

.....

基礎 (3) 1次関数  $y = 3x - 7$  において， $x$  の値が8増加すると， $y$  の値はいくら増加するか。

$$\text{変化の割合} = \frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}}$$



.....

.....





## 2次関数の式とグラフの性質をおさえよう!

関数  $y=ax^2$  とそのグラフ 大事な部分をなぞろう!  
 次の空欄をうめよう!

$y$  が  $x$  の関数で、 $y=ax^2$  ( $a$  は定数) と表されるとき、  
 $y$  は  $x$  の2乗に比例するという。このとき、 $a$  を比例定数という。

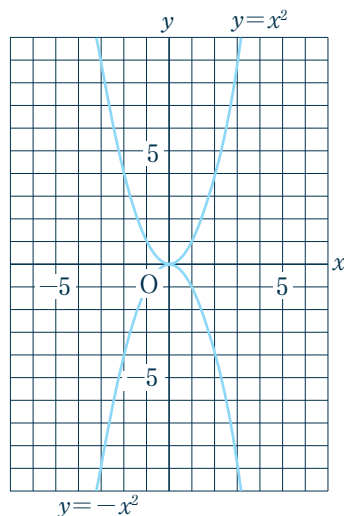
$y=x^2$  と  $y=-x^2$  の変化を調べてグラフをかこう。

$y=x^2$

$x$	-3	-2	-1	0	1	2	3
$y$	ア	4	イ	0	1	ウ	9

$y=-x^2$

$x$	-3	-2	-1	0	1	2	3
$y$	エ	オ	-1	0	カ	-4	-9

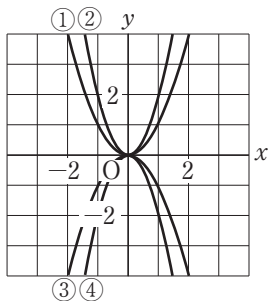


チェックの答え ア:9 イ:1 ウ:4 エ:-9 オ:-4 カ:-1



### 例題

下の図は、4つの関数  $y=x^2$ 、 $y=-x^2$ 、 $y=2x^2$ 、 $y=-2x^2$  のグラフを表している。  
 $y=2x^2$  のグラフは①~④のうち、どれか。



### 解答欄

$y=x^2$ 、 $y=2x^2$  は、比例定数が正だから、  
 グラフは  $x$  軸の  側にある。

また、 $y=2x^2$  のグラフのほうが、  
 $y=x^2$  のグラフより、放物線の開き具合が

いので、 $y=2x^2$  のグラフは  
 である。

比例定数の絶対値が大きいほど、グラフの開き具合が小さくなるよ。



答え キ:上 ク:小さ ケ:②

### 基礎

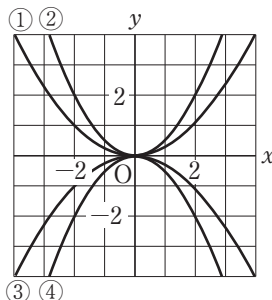
(8) 右の図の①~④のうち、関数  $y=-\frac{1}{2}x^2$  のグラフはどれか。

.....

.....

.....

比例定数の値に注目しよう。





## 2次関数の式の求め方をマスターしよう!

### 2次関数の式の決定 次の空欄をうめよう!

$y$ は $x$ の2乗に比例し、 $x=1$ のとき $y=2$ である。  
このとき、 $y$ を $x$ の式で表そう。

$y$ は $x$ の2乗に比例するから  
 $y=ax^2$  ( $a$ は定数) ……①  
と表すことができる。

①に $x=1$ 、 $y=2$ を代入すると

$$\text{ア} = a \times \text{イ}^2$$

$$a = \text{ウ}$$

よって、 $y = \text{エ}$ と表せる。

$y=ax^2$ のグラフが原点以外に通る1点がわかれば $a$ の値が決まるよ。



$y=ax^2$ のグラフが点(1, 2)を通るということである。

チェックの答え ア:2 イ:1 ウ:2 エ: $2x^2$



### 例題

$y$ は $x$ の2乗に比例し、  
 $x=2$ のとき $y=-6$ である。  
 $y$ を $x$ の式で表せ。

### 解答欄

$y$ は $x$ の2乗に比例するから  
 $y=ax^2$  ( $a$ は定数)  
とおける。  
 $x=2$ のとき $y=-6$ だから  
 $-6=a \times \text{オ}^2$  より、 $a = \text{カ}$   
よって、 $y = \text{キ}$

答え オ:2 カ: $-\frac{3}{2}$  キ: $-\frac{3}{2}x^2$

基礎 (11) 関数 $y=ax^2$ において、 $x=2$ のとき $y=-8$ である。 $a$ の値を求めよ。

.....  
.....

基礎 (12)  $y$ は $x$ の2乗に比例し、 $x=-4$ のとき $y=2$ である。 $y$ を $x$ の式で表せ。

$y=ax^2$ において、 $x$ 、 $y$ の値を代入しよう。



.....  
.....  
.....